

令和3年度第1回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和3年4月26日(月) 14時～14時30分
開催場所	ハイス こづち
出席者 合計 5名	地域代表1名、学識経験者1名、家族代表1名、事務局3名
<p>1 定足数の確認 「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会 (事務局) 岩手県でも新型コロナウイルス感染者が日々2桁で推移している。今後、ゴールデンウィークを控えているが、職員とも感染予防対策を徹底していきたい。</p> <p>3 報告(ハイスこづちケアマネジャー八幡)</p> <p>① 状況報告 資料(別紙)の通り。2月は新規利用者が2名、3月は新規利用者が2名の合計16名となる。しかし、3月いっぱいでの利用終了者1名おり、4月に新規利用者が1名あった為、現在の合計は16名とそのままとなっている。介護度の割合については別紙の通り。また、介護度の更新により要介護4の方が、要介護1となる利用者がいる。</p> <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒヤリハット1件。昼の静養後、起床介助のため職員が向かうと自ら起床し、立ち上がる。居室のカーテンを開けようと歩き出した際に、脚に力が入らずそのまま左手をつくように座り、尻もちをついてしまう。職員が状態を確認すると、痛みなどはないとのこと。原因として、職員が見守りをしてしたが、自立されている方という油断し利用者との距離があったことが原因であった。対策として、支えられるように利用者との距離を取らないこと。本人の希望を尊重しつつも、付き添いながらの見守りを行うこととする。・転倒による事故2件。 1件目。夜間勤務帯で発生。起床介助を促すも拒否があり、直接的な介助はせず見守りを行っていた。居室を歩き回っているうちにバランスを崩し、壁に寄りかかりながら転倒し背中と後頭部をぶつけた。職員が状態を確認すると、背中の中の痛みの訴えは聞かれたが後頭部は大丈夫とのこと。ご家族にも報告する。原因として、普段は自立して過ごされる方であるが、起床時は着替えもスムーズにいかず、ぼんやりをしていた。職員が声がけをするも介助には拒否があり、見守りを行っていたが転倒には間に合わなかった。対策として、本人の希望にも配慮が必要であるが、起床時の状態が良くないことが多いため、着替えは座ってもらい着替えが終わるまでは付き添いながら見守りを行い、必要時には介助を行うこととする。	

2 件目。昼食後に発生。自分で下膳しようとしたところ、足元が滑り転倒。転倒時に後頭部をぶつけたと訴えがある。ご家族に報告後、大事を取り受診する。原因として、昼食の時間中に来所された利用者があり、ホール職員が対応したところホールの見守りが手薄の状態となり、転倒に対応できなかった。対策として、ホールの見守りができる職員が不在にならないよう職員間で声がけし連携を図る。職員の休憩体制や時間帯を見直す。本人の履いている靴が滑りやすい素材だったため、本人に事情を説明し、変更の承諾を得たのち靴を変更した。

③ 行事について

季節感を感じてもらえるよう、2月の節分では豆まきを開催したり、3月のひな祭りでは、雛人形の飾りつけを職員と協力して行った。また、大槌町役場主催の『つるかめ川柳』では、レク活動の時間に皆さんから作品の意見を募集応募したところ、結果、最優秀賞を受賞し広報にも掲載された。現在は、昨年行ったアンケートで希望が多かった家庭菜園の準備をしている。利用者に楽しんで過ごしていただけるようレク活動の内容を考えている。

○報告についての意見

(地域代表) ヒヤリハットや転倒について…対応には限界があり、難しい場合もある。転倒しても二次的な事故に繋がらないように気を付けてほしい。また、転倒の原因であった靴を変更したことは評価したい。

(学識経験者) 要介護4から要介護1になったことについて…どのようなりハビリで改善したか知りたい。

(ハイス職員) 入院されていた方で、入院中の介護申請により介護度が高い判定が出ていた。ハイスでは直接的なりハビリができないが、本人が意欲的にホール内で歩行訓練をしたことにより、体力づくりができていた。体力も回復してきたことで介護度更新の際に判定が改善した。

(事務局) 介護申請について…申請はご本人やご家族の希望で申請は可能である。事業所では申請についてご家族に助言することもできる。

4 外部評価について

(事務局) 運営推進委員にはハイス こづちの外部評価をお願いします。外部評価の必要性やスケールについては資料参照。資料1 事業所自己評価を参考に、資料2 地域関わり合いシート①の記入をお願いします。また、次回の運営推進会議の場でご意見を頂戴したく思います。ご不明な点も次回開催の運営推進会議でご質問をお願いします。運営推進委員から頂いた意見を後日まとめて、8月開催予定の運営推進会議でご報告します。

5 その他

(学識経験者) 知り合いの方で、独り暮らしで認知症も進んでいる方がおり、地域包括支援センターに相談した。その後、介護サービスを利用している様子はみられず、民生委員の訪問(見守り)のみになっている。生活が心配であるため、介護サービスを利用することはできないのか？

(事務局) 地域包括支援センターが関わっているため、ケアマネジャーがついている可能性がある。また、介護サービスの利用についてもご本人と担当ケアマネジャーで決めていると考えられる。

- ・ 次回開催予定日 6月下旬 14時～

令和3年度第2回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和3年6月28日(月) 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち
出席者 合計 5名	地域代表2名、学識経験者1名、家族代表1名、大槌町役場健康福祉課職員1名、事務局2名
<p>1 定足数の確認</p> <p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局) 岩手県内の新型コロナウイルス感染者が日々2桁で推移している。職員とも感染予防対策、体調管理を徹底していきたい。</p> <p>3 報告(ハイスこづち管理者)</p> <p>① 状況報告</p> <p>資料(別紙)の通り。2月は新規利用者が2名、3月は新規利用者が2名の合計16名となる。しかし、3月いっぱいでの利用終了者1名おり、4月に新規利用者が1名あった為、現在の合計は16名とそのままとなっている。介護度の割合については別紙の通り。また、介護度の更新により要介護4の方が、要介護1となる利用者がいる。</p> <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p> <p>・ヒヤリハット1件目(ずり落ち転倒)</p> <p>日中に施設内を利用者3名と職員1名が散歩しているときに発生。利用者が「疲れたからイスに座ろう」と訴えた為、職員が椅子に座る介助を行う。2名の利用者が長椅子に座ろうとしたら、最初に座っていた利用者が席を譲ろうと動き、ゆっくりと椅子から床に座ってしまう。職員が状態確認を行うと、痛みや外傷はなかった。</p> <p>・ヒヤリハット2件目(転倒未遂)</p> <p>昼食後に、他利用者の静養介助の為、職員が不在になったところ、椅子から立ち上がろうとしたところを発見する。職員が駆け寄ると歩き出そうと左側に傾き、右横から体を支えて転倒を防止した。</p> <p>③ 主な行事・レク活動について</p> <p>4月8・9日の両日、吉里吉里駅～大ヶ口公園～城山公園の桜の見学を行った。利用者からは好評だった。5月は利用者と職員とで協力し家庭菜園づくりを行った。植えた植物は「きゅうり、ミニトマト、つるむらさき、さやえんどう、スナックエンドウ、春菊」の6種。今後もコロナウイルスの感染状況等を注視しながら、季節を感じてもらえるような行事を計画していきたい。</p>	

○報告に対しての意見はなかった。

4 外部評価について

(事務局) 前回、運営推進委員の皆様にお願ひした、ハイス こづちの外部評価表の発表をお願ひします。最後に提出をお願ひします。以下は提起された意見

① A 事業所自己評価の確認について

Q : (A-1に関連して) ヒヤリハットの対応策として、利用者1人に対して職員が1対1とあったが、他の仕事に影響はないのか?

A : 常に1対1ではなく、その利用者の認知症のレベルや状況に応じて臨機応変に対応する。

② B 事業所のしつらえ・環境について

・意見なし

③ C 事業所と地域のかかわりについて

・地域住民に知られていないのではないかと?大槌病院や近くの薬局にパンフレットなどを置かせてもらえばよいのではないかと?

・新しい施設だからまだ認知されてないと思う。徐々に知られていけばよい。

・コロナの影響で思うような活動ができないのではないかと?

・パンフレットは地域の人から目立つ所に置いてもよいのではないかと?

・(家族代表の平野さんより) 自分の店舗でハイスのことを宣伝している。店に置くパンフレットをもっとほしい。

④ D 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組みについて

・ハイス周辺の散歩やドライブなど色々な所に行っていることはよいと思う。

・ハイスの職員が、地域の方を交えた会議には参加したことがない。

⑤ E 運営推進会議を活かした取り組みについて

・地域にお住いの方で、心配な方はいるが事例検討までは困難で実現していない。民生委員や、役場包括支援センターとの連携が必要ではないか。

・地域で行われるイベントについては、コロナが落ち着いたらイベント等やればよいと思う。

⑥ F 事業所の防災・災害対策について

・委員の方々に簡単な防災計画を示せばよい。

・この辺の地域の場合、津波警報が出たら避難場所は白澤の伝承館。

・地域の広報が去年は届かなかったかもしれない。

・付近にある沢は整備後には水没はないが、ハイスは水が出る場所に立地している。

・最近災害も酷くなっている。「大丈夫だろう」は通用しない。

・ハイス付近は、昔は魚が沢山いる沼だった。それを考えると水は溜まりやすいと思う。

・自家発電は備えているのか? ⇒ハイスには自家発電の備はないが、デイサービスセンターはまぎくには備されている。

・昔自分は顧客満足度調査をやったことがある。項目の設定、文章の長さが大事になってく

る。

(長すぎても駄目、項目が多すぎても駄目)

- ・今回の会議の冊子を作るだけでも、作る人には負荷がかかると思う。ご苦労だと思う。

5 その他

- ・次回開催予定日 8月下旬予定 後日、開催日程を調整します。

令和3年度第3回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和3年8月30日(月) 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち
出席者 合計 8名	地域代表2名、学識経験者1名、家族代表1名、事務局4名
<p>1 定足数の確認</p> <p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局) 岩手県内を始め、沿岸地域でも新型コロナウイルス感染者が増えてきている。予防や体調管理に職員とも感染予防対策、体調管理を徹底していきたい。皆さんからのご意見ご提案を宜しくお願いします。</p> <p>3 報告(ハイスこづち管理者)</p> <p>① 状況報告</p> <p>資料(別紙)の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・6月は新規利用者が2名(介護1と介護2の方)・7月は新規利用の契約が0名。更新により介護度4となった方が1名。7月途中で利用終了となった方が1名。・ご家族の事情により泊まりを利用される方が増えた。また夏季に入り日中独居の方の安否確認や水分摂取の声かけ訪問を開始したことにより7月の訪問回数が107回と大幅に増えた。 <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p> <ul style="list-style-type: none">・今月は報告するヒヤリハット及び、事故事案は発生していない。しかし、各職員の中でヒヤリとする場面は日々あると思われる。利用者への気遣いや声かけを継続してケアを行っていきたい。 <p>③ 主な行事・レク活動について</p> <ul style="list-style-type: none">・7月行事の七夕では、施設周辺の地域住民の方々にも短冊を書いて頂く様、お願いし配布を行った。結果4枚の短冊が飾られていた。また配布の際に「今年も待っていた」とか「今年も短冊が来ないのかと思った」と話すお宅もあった。・家庭菜園の紹介の際に、会議出席者の中から「つるむらさき」の質問があった。現物を紹介し、調理方法にまで話が及んだ(会議終了後、家庭菜園を見学する出席者もいた)・9月は敬老会開催予定。・7月20日に土砂災害合同避難訓練を実施した(資料1、2参照)	

○各報告に対しての意見

- ・避難訓練の際に頭巾とかは持っていくのか？非常食の準備はしてあるのか？

⇒避難する際に、常時配備している災害時持ち出し品に準備してある。

- ・慌てて避難する前に早めの避難。それが大事になってくると思う。私の家の近くの川も雑草だらけなので、有志で草刈りをした。過去が安全だから大丈夫はもうないと思う。

- ・近くの川は大槌町の管轄ではないか。

4 外部評価について

今回、第6回目の開催となる。資料3 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表読み上げ。

○外部評価に対しての質疑応答はなし。

5 その他

○意見

- ・資料3の出来や内容は素晴らしい。

・資料3の項目Dで地域住民への更なるPRも兼ねて、様々な施設へのパンフレットの配布も検討してみてはどうか。

- ・ヒヤリハットが無いのは素晴らしい。職員の注意の賜物ではないか。

・利用者の登録率が62%となっているが、このくらいで頭打ちなのか。目指すは何パーセントか。

⇒将来的には90%くらいを目標にしている。

- ・どこの介護事業所も介護職員は足りない状況のようだ。

・ハイス こづちでは要支援の方も受け入れており、利用者も増えている。登録定員にまだ空きがあることから、要介護の方も積極的に受け入れていきたい。

- ・次回開催予定日 10月下旬 14:00 開始予定 ※後日、開催日程を調整する。

令和3年度第4回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和3年10月25日(月) 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち
出席者 合計 8名	地域代表2名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局3名

1 定足数の確認

「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。

2 開会

(事務局) 新型コロナウイルス感染者が落ち着き始めているが、引き続き、感染症予防を徹底して運営していきたい。

3 報告(ハイスこづち管理者)

① 状況報告

資料(別紙)の通り。

- ・8月は新規利用者が1名。(要介護1の方)入院されていた方が利用再開し、実利用者が18名となる。7月に比べ、通いの利用回数が減少している。これは新型コロナウイルス感染予防の為、利用を自粛された影響によるもの。

- ・9月は新規の契約が4名中、利用開始が3名。内1名は契約時入院中で、退院後の利用を予定していたが、退院後すぐに再入院され現在も入院中となっている。

- ・要介護4の方が、終日利用の為、泊まりの回数が増加しており、職員も随時配置されている状態となる。

○意見 状況報告は特になし。

② 施設内の事故・ヒヤリハットについて

- ・内容 今期間は1件の報告。昼食後のトイレ時に発生。トイレ前で「ドン」と音がし、職員が駆けつけると、トイレ入り口で尻もちをついて座り込んでいた。状態確認の為、バイタル測定を行い外傷や出血はなかったが、左後頭部をさする様子あり。すぐにご家族様に報告する。ハイスで様子観察を続け、状態も落ち着いていることから、バイタル測定後帰宅となる。

- ・原因 利用の前日にも自宅で転倒しており、当日は病院受診後の利用だった。歩行状態も良くなく、付き添い介助でトイレ誘導するが、トイレ中は介助が出来ない為、職員がトイレから離れてしまい、転倒に間に合わなかった。

- ・今後の対応 日常の身体状況を過信せず、現在の身体状況を把握し介助を行う。職員の配

置が難しい場合は、付き添い介助中は利用者から離れることがないように職員同士で声かけをしていく。

- 意見 (学識経験者) トイレ中は介助できなかったとあるが、介助できなかった理由は。
(管理者) 排泄は自立されている方であり、介助拒否があった為、トイレの中までの介助は出来なかった。トイレ前で職員が待機していなかったことが原因と思う。

③ 主な行事・レク活動について

- ・ 8/26 消防訓練 (詳細は別紙資料参照)

スケジュール通り実施出来た。緊急持ち出し袋を忘れずに持ち出し避難したが、災害携帯電話を持ち出すことを忘れてしまったので、次回の訓練では忘れないようにする。出火場所を厨房だけでなく、他の場所を想定した訓練を実施したい。

- ・ 9/13、17 敬老会

心を込めて提供したお祝い膳、本番前まで利用者と一緒に練習したぐるり音頭や、炭坑節を踊り、賑やかな敬老会だった。

- 意見 (事務局) 消防訓練について 8/26 は気温も高く、利用者を外に避難させる際にテントを張るような暑さ対策を講じた方が良かったのでは。

(管理者) 次回の訓練では改善したい。

(包括支援センター職員) 避難訓練は年に何回行われるのか。

(管理者) 年2回の実施が義務付けられている。

(事務局) ぐるり音頭とはどのような踊りか。

(管理者) 一週間踊りを練習したが、振り付けを忘れてしまい披露出来ず申し訳ありません。

ん。

4 その他

- 意見 (事務局) ぐるり音頭を披露してほしかった。

・ 次回開催予定日 12月中旬 14:00 開始予定 ※後日、開催日程を調整する。

令和3年度第5回 ハイス こづち運営推進会議報告書

開催日時	令和3年12月13日(月) 14時～15時00分
開催場所	ハイス こづち相談室
出席者 合計 9名	地域代表2名、学識経験者1名、家族代表1名、包括支援センター職員1名、事務局4名
<p>1 定足数の確認</p> <p>「ハイス こづち運営推進会議設置要綱」5(2)に則り、過半数を満たしているため開催する。</p> <p>2 開会</p> <p>(事務局) 今年もあと3週間となった。本格的な冬の気候となりそうなので、皆さんの健康に留意して頂きたい。活動報告などの発表があると思うが、皆様からのご意見をお願いしたい。</p> <p>3 報告(ハイスこづち管理者)</p> <p>① 状況報告</p> <p>資料(次第)の通り。</p> <ul style="list-style-type: none">・10月は病気療養の為、入院していた方(要介護5)が利用終了となった。登録率が3%下がった。利用回数については、体調に不安がある独居の方の泊まり利用や、初めて泊まりを利用する方が2名いたため利用回数が増えている(新規利用者数0名、登録者数22名、実利用者数21名、通い利用回数284回、訪問利用回数136回、泊まり利用回数92回、登録率75%)・11月は通い訪問については、10月と同じくらいの回数となった。家族の都合により、9泊の泊まりを利用した方や、急な泊まりの対応により泊まりの回数が増えている(新規利用者数0名、登録者数21名、実利用者数21名、通い利用回数281回、訪問利用回数130回、泊まり利用回数97回、登録率72%)・介護度の割合について(令和3年11月現在) <p>要支援1…3名 要支援2…1名 要介護1…7名 要介護2…5名 要介護3…3名 要介護4…2名 要介護5…なし</p> <p>○意見 特になし。</p> <p>② 施設内の事故・ヒヤリハットについて</p>	

・内容 今期間は1件の報告。降雨時の帰りの送迎時に発生。雨の為、送迎車からポンチョを着て玄関までの移動介助をする。玄関前の階段を登りきったところで、利用者が「足が動かない。」と話し、膝折れし介護職員に倒れかかる。転倒しないよう肘を持ち上げるが、耐えきれずゆっくりと膝を地面についてしまう。職員と一緒に座り込む状態になり、立ち上がれない状況となった。通りかかりの住民が手伝ってくれたことで、立ち上がることができた。自宅に入り、外傷や可動を確認するが異常は確認されなかった。ベッドに誘導し、家族へも報告を行った。

・原因

(1)雨の為着ていたポンチョで、本人の足元を確認できなかった。また、職員も同様に利用者の足元を確認しづらい状況となっていた。

(2)両手が塞がっており、膝から体勢が崩れた場合には支えることが困難であった。

・今後の対応

(1)降雨時など悪天候の場合には、極力2名体制での送迎を実施する。

(2)利用者の足の運びの状態を観察し、悪化傾向の場合には、送迎を2名体制で行う。

○意見（事務局）背が低いとポンチョの裾を踏むことがある。そこも考慮してほしい。

③ 主な行事・レク活動について

・10月18日、22日 大運動会（詳細は別紙資料参照）

上記日程で令和3年度ハイスこづち大運動会を実施した。今年は選手宣誓や紅白の得点要素盛り込んだプログラムにした。各競技では皆真剣そのもので、体を動かしながら楽しく交流できた。実施競技：物送りリレー、玉入れ、パン食い競争

・11月5日、8日 紅葉ドライブ（釜石市橋野町 どんぐり広場）

11月は紅葉ドライブを実施した。紅葉が見頃のときに合わせて、どんぐり広場までドライブをした。広場ではテーブルやイスも設置しており、そこでおやつを提供した。とても綺麗な紅葉に利用者も満足していた。

だった。

○意見 特になし。

4 令和3年度利用者アンケート集計結果の報告（詳細は資料1、2を参照）

- ・項目①の不満点…お湯がぬるい
- ・項目②の不満点…未記入で不明
- ・項目⑤の不満点…送迎車の車高が高く乗り降りしづらい
- ・項目⑩のその他の意見…職員のお手伝いがしてみたい
- ・項目⑪の意見…食事の時間をもっと早くしてほしい

○意見（地域代表）アンケートは項目に○をつけてもらう形にしたのか？

回答 → 項目に○をつける形で行った。

○意見（事務局）夕食の時間は何時頃なのか？

回答 → 普段は 18 : 00 頃をめどに提供している。

（学識経験者）泊まりの職員は何人でやっているのか？

回答 → 現在は 1 名で対応している。宿泊は最大 6 名迄受け入れ可能となっている。

（包括支援センター職員）昨年の施設開設当初からの職員数の変化は？

回答 → 登録利用者数の増加に伴い、職員数も増えている。

（家族代表）他介護施設とハイス こづちの同時利用は可能なのか？

回答 → ハイス こづちは小規模多機能型居宅介護事業所の為、利用登録している場合には他の介護施設との併用が原則できない形態となっている。

・ 次回開催予定日 令和 4 年 2 月下旬 14 : 00 ~ (予定)

※後日、開催日程を調整する。